

世界の子どもたちのために

Wish

創刊号(2002年夏)



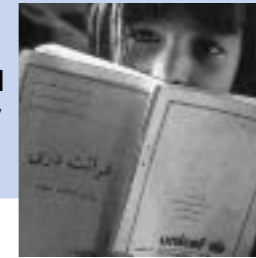
(財)日本ユニセフ協会

兵庫県支部

〒658-0081
神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL 078-435-1605
FAX 078-451-9830

ユニセフ兵庫ニュース

Back to School
キャンペーン



© UNICEF

ユニセフ活動 Q & A

Q ユニセフ活動に協力する方法は?

A 募金と 日本ユニセフ協会の会員(会費による支援)になる方法があります。

Q 会員の種類と会費、期間などは?

A 3種類の会員があり、年会費は
個人は...1口5,000円
学生は...1口2,000円(18歳以上の学生)
会員期間は個人会員、学生会員とも入会月から1年間
団体は...1口100,000円(団体、法人、企業など)
団体会員は毎年4月~翌年3月が会員期間です。
会員になる方法など、詳しいことについては
お問い合わせください。

兵庫県支部 会員数 261人(4/1現在)

募金にご協力ください

日本の子どもたちも1949年から1964年までの15年間、学校給食での脱脂粉乳や医薬品など当時の金額で総額65億円もの援助をユニセフから受けました。ユニセフは皆さまからの募金によって支えられ、世界の子どもたちのためにさまざまな活動を行なっています。

ユニセフの募金には、一般募金、マンスリープレツク(毎月の口座引落し)、外国コイン募金などがあります。郵便振替の場合は下記口座にお願いします。

口座番号: 00190-5-31000

加入者名: 財団法人 日本ユニセフ協会

*通信欄に「K1-280兵庫県支部」とご記入ください。

*詳しくはお問い合わせください。

兵庫県支部の誕生

世界の子どもたちのために、 今、自分自身ができることを

2002年3月6日、たくさんの方のご賛同をいただき設立総会を開催し、神戸市東灘区に国内で11番目の県支部として事務所ができました。

1982年、アジア・アフリカの子どもたちに「バケツ一杯の水を送ろう」という思いで始まったユニセフ協力活動が、今では世界の子どもたちのためにという大きな輪となり、兵庫県一円に広がろうとしています。

設立間もない15月、21世紀のワールドカップ開催にともない、アフガニスタンの緊急支援である「Back to School」キャンペーンに取り組みました。ユニセフ親善大使のロジャー・ムーア氏が来日、兵庫県支部にも来てくださいました。スタートしたばかりですが、「世界の子どもたちのために、自分自身ができることを」と、ボランティアさんの輪も広がっています。

これからもより多くのおみなさんのご理解とご

日本ユニセフ協会
兵庫県支部
会長 竹本成徳



支援をいただきながら、兵庫県支部がそんな思いの発信、受信の場でありたいと願っています。今後とも、より一層のおみなさまのご協力をお願いいたします。



ポートピアホテルでの設立総会



あとがき

世界にはたくさんの方がいてほんとうに様々に暮らしていること、そしてみんなちがって、いていいというごくあたり前のことに改めて気づかされる日々。

ほんの少しでいい、できることをできる人から。そんな輪が広がればいいなと思う。そして笑顔があふれるように。そんな思いをこめてユニセフ兵庫ニュースを「Wish(願い)」としました。(福)

Wish 創刊号(2002年夏)
ユニセフ兵庫ニュース

2002年(平成14年)7月31日
(年4回発行)

発行: (財)日本ユニセフ協会 兵庫県支部
〒658-0081
神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL 078-435-1605
FAX 078-451-9830
(平日の10時~16時)



本紙は再生紙を使用しています。

トピックス

兵庫県支部設立後初のイベントに参加

ユニセフ募金贈呈式

5月19日(日)コープこうべ生活文化センター 20周年記念イベント「せいぶんまつり」で、ユニセフの募金贈呈式が行なわれました。コープこうべ、労働組合、定時職員協議会、神戸市立桜の宮中学校生徒会などの代表から、多くの人たちの温かい募金がユニセフ兵庫県支部竹本成徳会長に手渡されました。



アフガニスタン教育支援募金活動を実施

ボランティアがロジャー・ムーア氏の激励を受ける

ワールドカップ開催に伴ないユニセフの親善大使ロジャー・ムーア氏が来神、6月7日(金)には、コープこうべシア店での募金活動の激励に訪れました。初めての募金活動でしたが、みなさんの温かいお気持ちにふれボランティアさんも感激の一日でした。



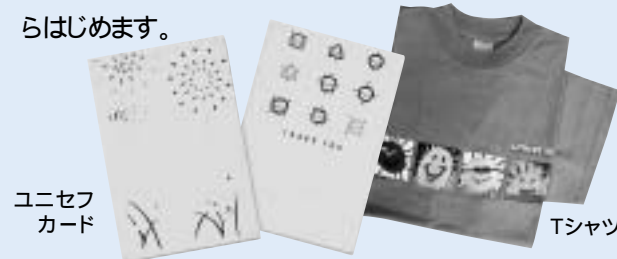
ユニセフの活動って

ボランティアさんを対象に学習会を実施

ボランティアを希望するメンバーが、ユニセフ活動の理解と今後の活動にむけて、コープのユニセフ親善大使を講師に学習会を実施。スタディツアーでの視察報告を交えながら、5月21日(火)、27日(月)、28日(火)の3回にわたり学び、25名が参加しました。

イベントでもユニセフグッズを販売

「せいぶんまつり」や三木の「協同学苑」でも、ユニセフのカードやはがき、ロゴの入ったTシャツなどを販売。いろいろなか場で、実際に手にとっていただくことからはじめます。



数字で見る世界
 予防接種普及率は72%
 エイズ感染者は3610万人。
 エイズ死亡者は2200万人。
 エイズで孤児になった子は1040万人。
 5歳になる前に1100万人のこどもが亡くなっている。
 3秒に1人亡くなっている。

今日生まれた100人の子どものうち
 40人は出生が届けられない
 26人が何の病気の予防注射も受けられない
 19人が安全な飲料水を手に入れることができない
 30人が人生の最初の5年間を栄養不良で苦しむ
 17人がまったく学校に行けずその内の9人が女の子である

お知らせ 報告会

「アフガニスタンは今」

～子どもたちの様子やユニセフの支援活動について～

【日時】8月27日(火)午後1時～3時

【会場】コープこうべ生活文化センター2Fホール



講師は日本ユニセフ協会事務局長 早水 研氏
 クイズやビデオ上映、カードの販売も行ないます。
 お申し込みは、兵庫県支部 078-435-1605 まで

写真展

「危機の中の子どもたち」

【日時】8月25日(日)～31日(土)

開館時間9時～18時(ただし31日は15時まで)

【会場】生活文化センター1Fロビー・展示室



UNICEF/DHQ083/Shehzad Noorani

20年以上におよぶ紛争と3年続きの大干ばつに加え、2001年9月の同時多発テロ以降の紛争により、国土のほとんどが廃墟と化したアフガニスタン。紛争下でのユニセフの緊急支援、また教育、保健の再建と心のケアに取り組む復興支援の様子を、パネル24点と支援物資を展示し紹介します。

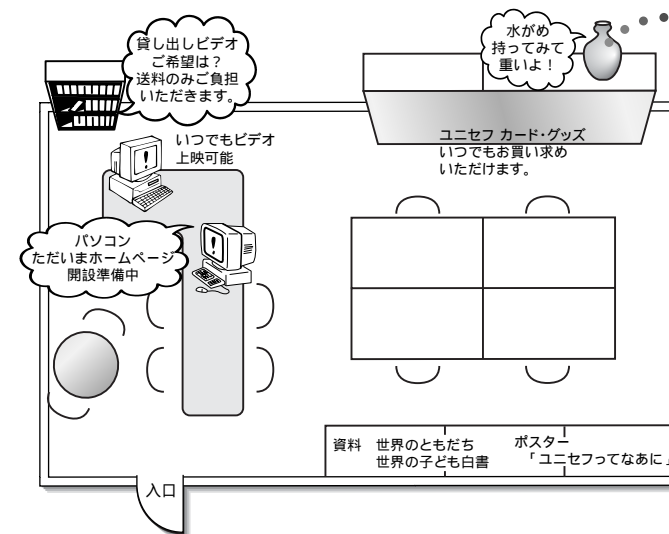
クラスで最も年長のアガ君(左から3人目)は8年前の地雷の事故で右腕と左手の一部を失いました。
 (パキスタン、ヘジャールのヤムシャトール難民キャンプの簡易学校にて、2001年10月)

これから兵庫県支部では

支部設立にあたり、昨年12月に発起人会が開かれ、準備をすすめ、今年3月6日兵庫県支部として正式にスタートしました。

コープこうべは1982年にユニセフ募金事務局として委嘱され、約20年間募金活動を中心に行なってきました。兵庫県支部になったことで、これからより一層多くの人にユニセフ活動を広め、深める取り組みをすすめていきたいと思っています。まずは「知っていただくこと」から。ボランティアさんの参加もとても大事なことです。

まずはユニセフの理解者の輪を広げていくこと。ユニセフ活動に協力いただくボランティアさんの支援をいただきながら、スタートしたところです。そのために兵庫県支部では
 視聴覚教材の申し込み(ビデオ、ポスター等)
 学習会開催時の講師派遣
 会員加入のご案内
 ユニセフカード、グッズの普及活動
 などを行なっています。



いっしょに活動してくださるボランティアさんを募集しています。「世界の子どものために何かできないか」と考えたり、「ユニセフのこと知りたい」と思っている人、また「何か自分ができることはないか」と探している人、一度ご連絡ください。

ユニセフカード、グッズを取り扱っています
 ユニセフ兵庫県支部では、常時カード等の販売をしています。また、9月から毎月7日に生活文化センターロビーで販売します。代金の半分は募金になります。

ボランティアの活動にも様々な取り組みやかかわり方があります。ご自分にあった「なにか」を見つけてみませんか。ユニセフのボランティア活動を通して、世界の子どものことやまわりの事を見つめ直してみませんか。もしかして、自分自身のことが改めて見えてくるかもしれません。